

前期基本計画 平成30年度 施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：06 笑顔輝く健康づくりへの支援

施 策：03 安心して子どもを産み育てるための支援

施策担当職・氏名	健康推進課 総括主査兼総括保健師 佐藤 美智子
-----------------	-------------------------

1. 施策の平成30年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	<p>少子化・核家族化により、育児が世代間で伝達されなくなってきました。また、人間形成の基礎となる親子の愛着形成が十分できなくなってきたことから、母子保健分野においては切れ目のない多様な支援が必要になってきています。</p> <p>思春期にある児童生徒に対しては、命の大切さや健全な母性・父性を育むための講演会や赤ちゃんふれあい体験学習等の思春期保健事業を実施します。</p> <p>妊婦等に対しては、安全で安心な妊娠・出産のための両親学級等の開催や妊婦健康診査に対する助成事業、更には、生まれてきた全ての子どもが健やかに育つよう、乳幼児健康診査や予防接種等の健康支援と共に、乳児家庭全戸訪問事業をはじめとした育児支援事業を通し、安心して、そして楽しく子育てができるよう支援して参ります。</p>
--	--

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)
1	暮らし 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合 単位 %	56.2	59 58.1	60 59	61 83.2	62 68.5	62 68.5	A 212.1
2	幸福 子どもが大切に育てられていると感じている人の割合 単位 %	75.3	75.5 75	76 78.2	76.5 79.8	77 74.1	77 74.1	D △70.6
	単位							

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推移	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1	595 1歳6か月児・3歳児健康診査事業 3歳児健診受診率 単位 %	目標値	97	97	97.5	97.5	97.5	97.5
		実績	97.5	97.1	96.2	98	-	-
2	598 乳幼児保健事業 乳幼児健診（3～4か月）受診率 単位 %	目標値	97	97	97	97	97	97
		実績	96.8	97.8	99.3	98.3	-	-
3	3184 妊婦個別健康診査事業 妊婦一般健康診査初回受診率 単位 %	目標値	100	100	100	100	100	100
		実績	97	99.5	98.8	98.3	-	-
	単位	目標値						
		実績						
	単位	目標値						
		実績						

前期基本計画 平成30年度 施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：06 笑顔輝く健康づくりへの支援

施 策：03 安心し子どもを産み育てるための支援

施策担当職・氏名 健康推進課 総括主査兼総括保健師 佐藤 美智子

2. 施策の実現に向けての平成30年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>平成30年度は94.4%の妊婦が妊娠11週までの届出をしており、早期に妊婦のリスクアセスメントを行い、必要な方への支援を行いました。妊婦への経済的支援として、妊婦個別健康診査事業や県外での利用についても便宜を図りました。不妊治療の経済的負担軽減のため、特定不妊治療助成事業を継続しました。・妊婦教室や両親学級は子育てを見据えた実習や体験型内容の工夫を行いました。・参加者は減少しました。・乳児家庭全戸訪問事業により、母子の状況を確認し、望ましい育児環境を整えられるよう支援すると共に、うつスクリーニングを実施し、早期に対応しました。・就学前最後の健診である3歳児健診の受診率は28年度より上昇しており、未受診者については、保育園・幼稚園に協力を得ながら状況把握に努めました。</p>	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【重点課題】・妊娠出産への支援・乳児全戸訪問事業の継続とフォロー体制の評価・育児支援事業の充実 【達成状況】・母子健康手帳交付時の「妊娠届出時アンケート」を基に、リスクアセスメントを行い、支援が必要な妊産婦、乳幼児に対しては、フォロー台帳を整備し、毎月母子保健担当と関係課との連携会議を行い、対象者に対して必要な支援を行いました。・乳児訪問を行い、産婦へのうつスクリーニングを実施し、うつ傾向のある産婦に対し、関係課・関係機関との連携のもと、早期に対応することで虐待防止に努めました。・子どもの成長、発達に合わせた、子育て教室や療育教室を開催し、育児不安が軽減できるよう支援しました。</p>	

3. 施策の実現に向けての平成30年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<ul style="list-style-type: none"> ・未婚や若年妊婦等、リスクを抱える妊婦が増加傾向にあります。 ・全国的に児童虐待による死亡事例が報告されていることから、乳幼児健診や予防接種の実施状況から所在が確認できない乳幼児がいる場合には、早期に適切な対応が必要です。 ・国の動向として、平成30年度に市で設置している「子育て世代包括支援センター」と合わせて、産前・産後サポート事業や産後ケア事業など妊娠期から子育て期にわたるまでの支援体制の整備が求められている。 	

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
<ul style="list-style-type: none"> ・基本施策達成のためには、引き続き同一の内容の施策の実行が必要であるため、見直しの必要はありません。 	

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成30年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】・支援が必要な妊産婦、乳幼児家庭の課題も複雑化、多様化しており、妊娠期からの切れ目ない支援体制を整える必要があります。</p> <p>【引継課題】・ひとり親家庭やDV、若年妊婦等課題のある保護者、家庭が増加しており、関係課、関係機関と更に連携を図り、支援していく必要があります。また支援内容が多様化、複雑化し、個別支援に多くの時間を要することから、専門職を中心にマンパワーの確保を図っていく必要があります。・育児不安や育児困難の予防のため、愛着形成にかかる子育ての講座（子育て心理学活用）を継続していく必要があります。・広汎性発達障害等、発達に課題のある児が増加しており、適切な支援が必要です。・「子育て世代包括支援センター」については、円滑な運営に向けて関係課と連携強化を図ります。</p>	

前期基本計画 平成30年度 施策方針評価書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策 : 06 笑顔輝く健康づくりへの支援

施 策 : 03 安心し子どもを産み育てるための支援

施策担当職・氏名 健康推進課 総括主査兼総括保健師 佐藤 美智子

(4) 所管実行計画事業費一覧

No	事業名			計画額	実績額	比較 (%)
	分野別計画					
	実施計画					
595	1歳6か月児・3歳児健康診査事業			4,534	4,364	△3.7
598	乳幼児保健事業			13,517	12,445	△7.9
646	妊婦保健事業			266	201	△24.4
1810	予防接種事業			115,567	105,049	△9.1
2374	育児支援事業			12,648	11,520	△8.9
2480	思春期保健事業 第4次滝沢市母子保健計画「すこやか親子たきざわ」			230	125	△45.7
2712	在宅救急当番医制事業			2,226	2,226	0.0
3184	妊婦個別健康診査事業			45,943	42,205	△8.1
3197	二次救急対策事業			3,056	3,005	△1.7
6273	市町村医師養成事業			3,736	4,094	9.6
12874	特定不妊治療助成事業			3,500	3,112	△11.1
13734	公的病院等助成事業			2,855	2,869	0.5